

令和4年度第2回 野田市消防委員会

令和5年3月1日(水)
午前10時30分から
中央公民館 1階 講堂

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 事

(1) 消防団の処遇改善についての答申案について

----- (暫時休憩) -----

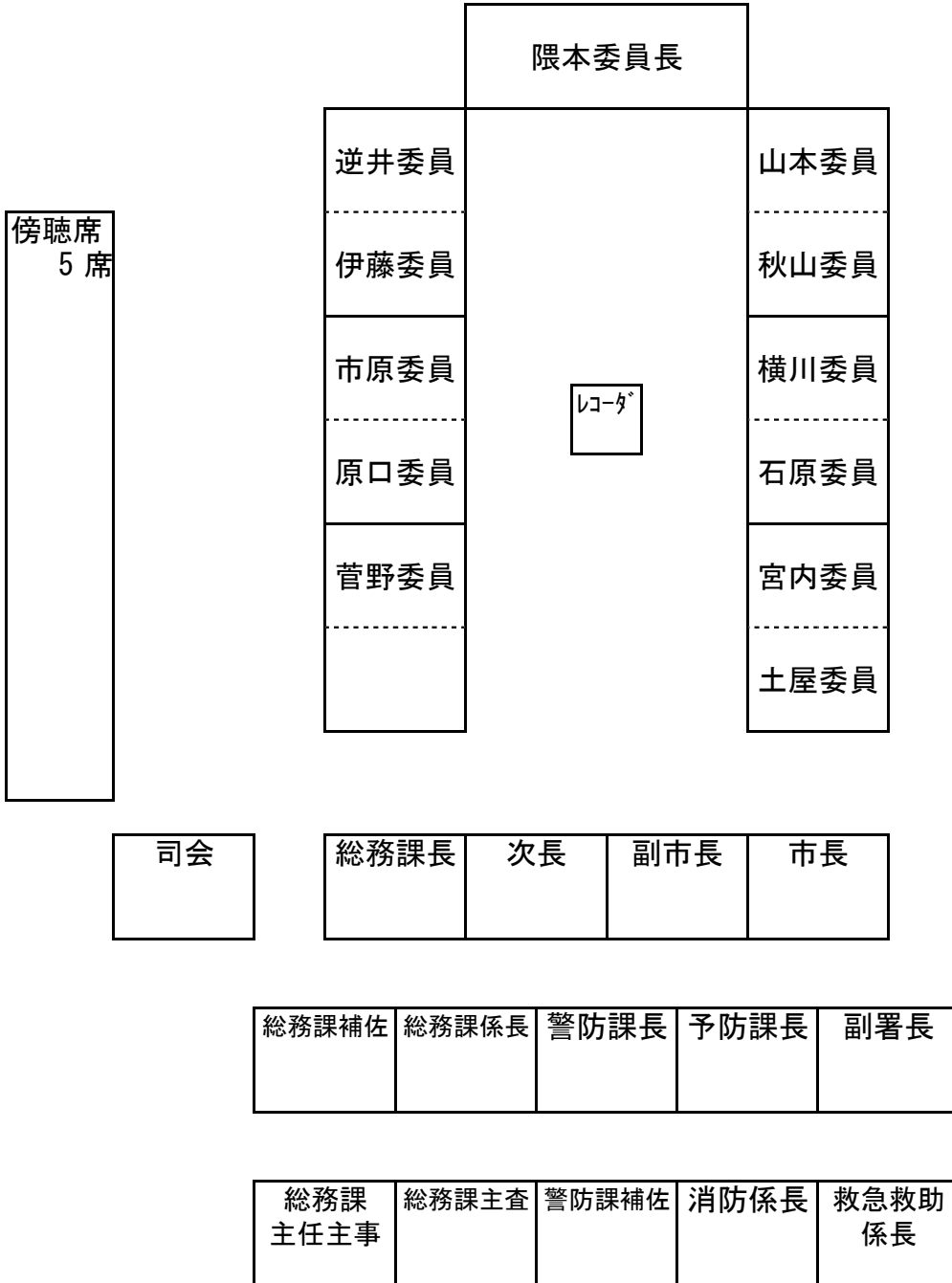
(2) 消防団の処遇改善についての答申書の提出

(3) その他

4 閉 会

席次表

中央公民館 講堂



野 田 市 消 防 委 員 会 委 員 名 簿

任期 令和3年10月1日から令和5年9月30日まで

敬称略

選 出	氏 名	所 属 団 体 等
学 識 経 験 者	隈本 邦彦	江戸川大学 教授
	関根 和弘	京都橘大学 教授
	深井 芳人	元 野田市消防長
消 防 関 係 者	逆井 健一	野田市消防団 団長
	伊藤 節夫	野田市消防団 副団長
	山本 和広	野田市消防防災協会 会長
野田市医師会を代表する者	小張 力	小張総合病院 理事長
野田市赤十字奉仕団を代表する者	秋山咲智子	野田市赤十字奉仕団 委員長
	横川 栄子	野田市赤十字奉仕団 副委員長
野田市女性団体連絡協議会を代表する者	石原 和子	野田市女性団体連絡協議会 理事
野田市自治会連合会を代表する者	市原 康雄	二ツ塚自治会 会長
	原口 立	目吹1区自治会 会長
消 防 長	菅野 透	消防長
公 募 委 員	宮内 彦行	元松戸市消防局勤務
	土屋 孝	元企業統括防火管理者

答申案について

1 消防団員の現状

近年、全国各地で災害が激甚化・頻発化する中、消防団は地域防災力の中核として重要な役割を果たしているが、消防団員数は著しく減少している。

諮問にあるように、野田市においても消防団員数の減少は顕著であり、団員確保は喫緊の課題である。

減少している要因は、被雇用者が7割を超えていることに加え、消防操法大会に向けた訓練をはじめとした消防団活動が負担となっていること等が判明した。

2 答申内容

上記の現状を踏まえ、消防団の負担を軽減し、処遇改善を図るため、各種出動の在り方、出動手当等を改善することを答申する。

改善内容については、別紙のとおりとする。

3 答申内容に追記する事項

(1) 財政効果について

処遇改善に伴う出動手当の総額を確認したところ、出動手当の引き上げはあるものの、出動回数や人数の見直しにより、令和4年度予算額(約3,100万円)とほぼ同額となるとの報告を受け、財政効果も確認できたので、妥当と判断する。

(2) 今後について

答申する消防団の処遇改善については、今後の団員確保に繋がることを期待するが、引き続き検証するとともに更なる改善及び団員確保を求める。

消防団の処遇改善について

1 各種出動の回数及び人数の見直し

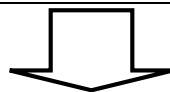
出動区分	種別	回数	人数	内容
災害出動	火災	—	—	火災による出動
	風水害	—	—	風水害による出動 地域防災計画及び団長との協議による
	その他の災害	—	—	上記以外の災害出動
訓練出動	消防団行事	—	—	消防団年間行事予定表による出動
	機械器具点検	1 (月)	5 人以内	警戒等と併せて毎月実施
	基礎訓練	3 (年)	—	各分団の不足部分を補う訓練
	操法訓練		—	
警戒出動	通常警戒	4 (年)	5 人以内	6 月～9 月に各 1 回管轄地区の警戒
	特別警戒	3 (月)	5 人以内	11 月～3 月、火災予防週間、年末年始及び乾燥期間中の警戒
	誤報による出動	—	—	誤報による出動
その他の出動	消防団幹部会議	2 (年)	—	消防団年間行事予定表による会議
	方面隊会議	4 (年)	—	四半期ごとに 1 回
	分団による会議	2 (年)	—	分団内での周知・伝達等

※災害出動のうち、火災出動は「消防団火災等出動区域指定表」に基づく出動を徹底する。

2 出動手当の見直し

現行（費用弁償）

区分	支給要件	費用弁償
災害出動	水火災又は災害の予防、鎮圧若しくは軽減に従事した者	1 回につき 2,270 円
訓練出動	各種消防訓練に従事した者	1 回につき 2,270 円
警戒出動	水火災又は災害の警戒に従事した者	1 回につき 2,270 円



改正案（出動報酬）

区分	支給要件	出動報酬
災害出動※1	水火災又は災害の予防、鎮圧若しくは軽減に従事した者	1 回 4 時間以上 8,000 円 1 回 4 時間未満 4,000 円
訓練出動	各種消防訓練に従事した者	1 日 2,500 円
警戒出動	警戒に従事した者	1 日 2,500 円
その他の出動	会議に従事した者※2	1 日 2,500 円

※1：災害の活動時間が 8 時間を超えたときの報酬は、その後 4 時間を経過するごとに、4,000 円を加算する。

※2：会議を開催した場合は、会議内容及び結果報告（任意様式）を消防本部総務課へ提出する。

3. 機関員報酬の廃止

機関員に対し、年報酬に加算し支給している機関員報酬の廃止

消防団と地元自治会の打合せ会議録（14分団2部）

会議名	消防団第14分団2部の統合について
日 時	令和4年6月25日（土）9時00分から
場 所	今上下組自治会館
出席者	<p>【消防団】 蓮沼副団長兼方面隊長、宮澤方面分団長 第14分団2部山中分団長、山中部長</p> <p>【自治会】 上組自治会長、中組自治会長、下組自治会長、上下谷自治会長</p> <p>【事務局】 田中総務課長、秋山課長補佐、井上主査</p>
議 事	<p>議事の概要は次のとおり</p> <p>総務課長 出席についてお礼を述べた後、令和3年10月にも実施した14分団2部の今後について打ち合わせる旨を述べた。</p> <p>課長補佐 現在までの経緯及び現状について説明した。</p> <p>方面隊長 現状団員が少なく、活動が厳しい状態であるが、自治会と協力し、存続させていきたいとの意向が示された。</p> <p>上組自治会長 団員不足が問題になることは近年のことであり、その原因は近年の若者は市外に就職し、職場の近くに移住してしまい、住民の減少が最も大きな原因である。しかし、消防本部で作成した消防団勧誘のチラシを配布したところ好評であったため、次回から勧誘の際にチラシを配布し勧誘していく旨の意見が出された。</p> <p>中組自治会長 臨時総会で現在の消防団の状況を説明した結果、住民の意見としては地元消防団は存続していきたいが、現在団員のなり手がいないが、未成年に入団希望者がいるため、時間が欲しいとの意見が出された。</p> <p>下組自治会長 消防団募集チラシを見た住民の息子が消防団に入団し、その同級生3人が入団した。また、その同級生からその輪を広げようという動きがあるが、就職の際、地元を離れていくのが現状であるとの意見が出された。</p> <p>上下谷自治会長 様々な取組をしているが、結果として団員確保には繋がらなかったとの報告を受ける。</p> <p>分団長 消防団活動には若者から見てメリットや魅力がない。消防団の仕組みを根本から変えていかなければならない。14分団2部は半数以上が他の地域から入団している状態であり、</p>

	<p>自分も大学を卒業したら退団するかも知れない。厳しい状態であるが、引き続き自治会で声かけ等の勧誘を続けて貰いたい旨の意向が示された。</p> <p>総務課長 自治会、地元消防団共に団員確保に向け、様々な場で検討し議論を重ねていることを踏まえ、今後も統廃合はせず、団員確保に取り組んでいくという意味確認をした。</p> <p>《一同同意する》</p> <p>総務課長 その他、質疑を求めた。</p> <p>《質疑の声なし》</p> <p>総務課長 質問が無いことを確認の上、質疑を終了し閉会を宣言した。</p>
--	--

消防団と地元自治会の打合せ会議録(28分団2部)

会議名	消防団第28分団2部の統合について
日時	令和4年10月23日(日)9時00分から
場所	消防署関宿分署2階会議室
出席者	<p>【消防団】 山田副団長兼方面隊長、稲橋方面副隊長、村瀬方面分団長、第28分団2部古矢副分団長、荒井班長</p> <p>【自治会】 新宿自治会長、緑ヶ丘自治会長、岡田自治会長、山之内自治会長、新宿自治会長、小林住宅団地自治会長</p> <p>【事務局】 田中総務課長、秋山課長補佐、野本係長</p>
議事	<p>議事の概要は次のとおり</p> <p>総務課長 出席についてお礼を述べた後、28分団2部の今後について打ち合わせる旨を述べた。</p> <p>課長補佐 現在までの経緯及び現状について説明した。</p> <p>方面隊長 28分団2部は定員10名のところ4名で、車両を動かしたくても動かせない状況のため、各自治会に協力をいただき団員を確保し、存続させたい意向が示された。</p> <p>副分団長 自治会と手を携えて二人三脚で団員を確保していきたいとの意向が示された。</p> <p>※岡田自治会を除く5自治会長より団員を確保するのは難しい状況であるが、消防団は必要なので団員確保に努めたいとの意向が示された。</p> <p>岡田自治会長 消防団は必要であるが、団員を確保するのは難しいため、岡田自治会としては統合したいとの意向が示された。</p> <p>総務課長 自治会の意向が一本化されないと議論が進まない旨を説明した。</p> <p>岡田自治会長 他の5自治会が28分団2部の存続に向けて団員確保に努めるのであれば、同意するとの意向が示された。</p> <p>総務課長 地元消防団存続に向けて自治会、消防団で協力し団員確保に努めていくことを確認した。</p> <p>新宿自治会長 各自治会、消防団との情報交換は重要なため、今後も打ち合わせを定期的に行うことを希望するとの要望が出され</p>

	<p>た。</p> <p>《自治会、地元消防団との情報交換を今後定期的に開催することで双方同意する》</p> <p>総務課長 その他、質疑を求めた。</p> <p>《質疑の声なし》</p> <p>総務課長 質問が無いことを確認の上、質疑を終了し閉会を宣言した。</p>
--	--